

 <p>一般社団法人熊本市保育園連盟</p>	<h1>市保連 だより</h1>	<h2>2023 (3月)</h2>	<p>令和5年3月1日発行 一般社団法人熊本市保育園連盟</p>
			<p>発行責任者 上野 誠之</p>
			<p>調査広報委員会</p>
			<p>委員長 今村 弘之 委員 宇治 正信 緒方 隼人 沖田 照生 角田 信也 豊田 亮</p>
			<p>〒860-0004 熊本市中央区新町 2-4-27 熊本市健康センター新町分室 2階 TEL(096)322-0096</p>
			<p>[第523号]</p>

保育の安全研修開催

令和5年1月24日(火)熊本市国際交流会館にて、「子ども主体の保育と子どもの安全」～子どもの権利から考える保育の安全～というテーマのもと、管理職、主任、副主任、保育士等83名が猪熊弘子氏(明福寺ルンビニー学園幼稚園 ルンビニー保育園副園長、ジャーナリスト、名寄市立大学特命教授)の研修を受けました。



研修の中で、「いのちを守る」とは、『いのち＝一人ひとりの子どもの存在ととらえる。子ども一人ひとりの存在を大切に、守ることは保育者に求められる最も重要な責務であり、園が子どもにとって安心して生きられる場所であることは子どもの最善の利益である。「一人ひとり」をみることが「いのちを守ること」、それは、保育所保育指針の「養護」の精神である。周りにいる大人がすべきこと、守るべきものは「からだの安全・心の安全」である』ということを再確認させていただきました。また、保育現場の様々な事故例をもとに、職員の学び、子どもを取り巻く大人のコミュニケーションの重要性と保護者の理解と協力の大切さを強く感じました。

大切な子どもたちを守ること＝職員一人ひとりの人生と園を守ることに繋がり、保育の見直しの延長線にある「子どもの人権」を守ることの重要性についても捉え直すことができました。猪熊先生から「ヒヤリハットを集めること」、「園内・外の見取り図を描くこと」「自園の当たり前や常識を疑うこと」といった大きな宿題をいただきました。しっかりと取り組み、より安全で子どもの人権が保障された園づくりにつないでいきましょう。

「ボイスウォーカー」の贈呈



熊本市を通じて、家電総合卸業の企業様より、当連盟に「ボイスウォーカー」45台を寄贈いただきました。

1月の園長会において上野理事長より、寄贈企業の代表取締役会長が河内地域のご出身ということで、代表して たちばな保育園 中村園長先生へ贈呈されました。

保育士になって良かったこと カトリア保育園 保育士2年目



保育士としてカトリア保育園に勤め二年目、先輩と年長児クラスのすみれ組を2人で担任しています。まだまだ力不足で試行錯誤しながらではありますが、毎日、子どもたちの明るい笑顔、無邪気さに元気をもらいながら保育を楽しんでいます。そんな中で、保育士になって良かったと思う瞬間は、子どもたちのつぶやきを拾い、それを実現させ

せて、一緒に楽しんでいる瞬間です。

夏のある日、お当番係の二人が持ってきた絵本は、ばばばあちゃんシリーズのアイス・パーティー。ばばばあちゃんと子どもたちが、ジュースや果物を凍らせて、暑い日を涼しく楽しむお話です。最後、ばばばあちゃんは、お風呂でアイスを食べるのですが、そのシーンを見て「プールの中で、みんなで作ったアイスを食べたい!」という子どもたち。その後、みんなですみれ会議をして、凍らせる食材を決めたらワクワクしながらみんな



で準備を行いました。よく晴れた気温の高い日に、大好きなプールに入りながら大好きなお友達と、自分たちで作ったアイスを食べている子どもたちの笑顔を見て、子どもの「やってみたい」を実現し、子どもたちと一緒に楽しむことの出来る仕事、保育士になって良かったと改めて実感しています。

この仕事について良かったと思うこと きよめ子どもの家 保育士8年目



大学を卒業後、きよめ子どもの家に就職し8年目を迎えました。私は、これまで1-2歳児、3-6歳児の縦割り保育を経験し、今年度初めて0歳児の担当をさせていただいています。はじめは、泣いてばかりだった0歳児さんも今では笑顔を沢山見せてくれ、

少しずつ指差しや表情等で自分の思いを伝えようとしてくれるようになり、安心して自己表現ができるようになったのだなあと嬉しく思います。子どもたちと日常生活を共にすることで、沢山の成長の場面に出会います。特に、モンテッソーリの活動では自分でしたい活動を選んで取り組むので、興味のあることにとことん打ち込み集中する姿や「できた!」というキラキラした表情を見ることが出来ます。このできなかったことができるようになったという感動を共感できることが保育士としてのやりがいになっていると思います。今後も子どもたちの可愛い笑顔に元気をもらいながら一緒に成長していけたらと思います。



この仕事について良かったと思うこと 日吉保育園 栄養士 3年目



園の栄養士として、毎日子どもたちの笑顔を見ながら仕事ができることです。更に、乳幼児期の健やかな成長に必要な保育中の食事作りや食育活動もやりがいのある仕事です。

常に子どもたちにとってベストな給食を考え、出来るだけ手作りにこだわり、行事食にも力を入れています。保育士やクラス担任、主任の先生方とも話し合いながら作る献立には、絵本に出てくる料理や季節の食材等、新しいメニューも積極的に取り入れ、子どもたちが給食に興味を持てるようにも工夫しています。子どもたちから嬉しそうに「給食おいしかったよ！また作ってね！」「いつもトウモロコシは食べきらん



けど今日は食べたよ！」と話してくれる言葉の一つ一つが、明日もおいしい給食を作る活力になっています。

これからも美味しく安全な給食のために、給食室職員と共に専門職として仕事のスキルを磨き、子どもたちの育ちを食の面から支えていきたいと考えております。



この仕事について良かったと思うこと 本妙寺こども園 栄養士 3年目



私がこの仕事について良かったと思うことは、食を通して子どもたちの笑顔に沢山出会えることです。先日、絵本に登場する料理やおやつを再現して作る「絵本レシピの日」にドーナツを提供した時に「先生！今日のドーナツ世界一おいしかったよ。」と笑顔で伝えに来てくれた子がいました。その時に、みんなのために一生懸命作って良かったと、とても嬉しく、心からやりがいを感じました。他にも、「給食の先生！いつもおいしい給食を作ってくれてありがとう。また作ってね。」と沢山言ってもらい、子どもたちの優しい気持ちや素敵な笑顔に癒されました。



私が、保育園栄養士を目指したのも、私が小さい頃に食べた給食が「楽しかった」「美味しかった」ことが思い出深く残っているからです。同じように、子どもたちが少しでも給食の時間が好きになって、給食を食べて笑顔が溢れるようにこれからも工夫をし、心に残るような給食を提供していきたいと思っております。

ぷち得情報



日常生活の中で、「もう少し楽になるといいな」ということや、「少し得した気分」となるような、ほんの些細なことだけど知ると誰かに伝えたいくなるようなものを集めてみました。皆さんでご覧ください。

コロナ禍で県外への旅行等が難しい状況が続きます。今回は、遠出ができない時でも、あらためて熊本の魅力を再発見するのにお得なクーポンをご紹介しますと思います。配布期間は2023年3月31日(金)までとなります。年度末となり忙しくなる時期ではありますが、時には、ゆっくりとリラックスの時間をとられてはいかがでしょうか。

平日 3,000 円以上、休日 2,000 円以上の宿泊を伴う旅行プラン、日帰り旅行プラン

平日 2,000 円分、休日 1,000 円分のクーポンを配布

くまもと再発見の旅～身近な人と身近な旅へ～
地域限定クーポン



3月の予定

ウインターセミナー	3月10日(金)	くまもと県民交流館パレア パレアホール
臨時総会	3月15日(水)	くまもと県民交流館パレア パレアホール